

## 沖縄県若年性認知症支援推進事業の紹介

～当事者と歩む事業を目指して～



### 倫理的配慮

本報告にかかわる当事者と  
そのご家族の了承を得たうえで、  
匿名性の保持に配慮しております。  
発表に際し使用した写真等はすべて  
当人とご家族の許可を得て使用しております。



○中野小織 特定医療法人アガベ会 沖縄県若年性認知症コーディネーター  
杉田恵梨子 沖縄県子ども生活福祉部高齢者福祉介護課

## 沖縄県若年性認知症支援推進事業の紹介

### 【事業目的】

- ・県内の若年性認知症者ひとり一人にあった支援が早期に開始される体制づくり
- ・当事者とその介護家族のネットワーク促進
- ・若年性認知症の正しい理解に向けた啓発

### 【経過】

- ・平成25年度より事業開始
- ・平成28年度より当法人が事業受託
- ・平成29年度より若年性認知症支援コーディネーター配置され、相談対応が強化された。

## 若年性認知症における (沖縄県) これまでの現状

### 【実態把握調査】

- 平成25年度に509名確認
- 在宅生活63%

### 【特徴】

- 所得保障の困難さ
- 地域によっては病を隠す傾向
- 引きこもりで、すでに重度化

## 沖縄県若年性認知症支援推進事業

- 相談対応
- 本人交流会  
(若年性カフェ)
- 支援者研修  
一般向け講演会



## 事業運営の方針

(H28年) 当事者参加を促す

(H29年) 当事者ととともに運営する

(H30年) 家族も支援者、  
専門職だけでなく、  
家族も同じ知識を共有する



キーマン

## 当事者グループの支え



「行きたい」と思  
う場がなかった。  
なければ自分たち  
で作れば良いと集  
まった。

それぞれ色々な立場で  
月に3回集まっている。

当事者9名  
ご家族9名  
友人7名 計25名



## 活動運営の基盤は畑！



## 小物で啓発活動！



## 本人交流会 (若年性認知症カフェ)



ピアカウンセリング



交流



ギター教室



英会話教室



バザー

## 支援者研修

←~~専門職研修~~

- 毎年、本島開催と離島開催  
(離島を回る企画)
- 開催地域で暮らす  
当事者に体験を発表頂く

### 職場の理解を得て働き続けるケース



迷わないように職場にも張り紙を  
させてもらっている

H28年  
先駆者



認知症の私は「記憶より記録」  
大城勝史さん

- 県内ではじめて公表
- 沖縄県で先駆者として  
講演会活動をされている
- 職場の理解や働き方を発表

### 体力に合わせてパートで働くケース

H29年  
本島発信



「ジョブコーチ支援の  
仕事カードはとても重宝した」

- 診断後、勸奨退職
- 職業評価と訓練で再就職
- 清掃員でフルタイム3年
- 現在、パートで2年経過

### 就労継続支援B型事業所ケース

H29年  
離島発信



- 離島の現状
- 様々な疾病の方々と作業している
- 就労継続B型事業所利用で  
2年経過した



## 介護者が闘病し感じたことを夫婦で発表



H29年  
本島から  
離島へ応援

- ・介護者の病で生活が一変
- ・「以前から、ショートステイの利用を検討するべきだった」

## 就労継続支援B型事業を利用したケース



H29年  
先輩者から勇気  
をもらった



- ・B型とデイサービスを併用している
- ・B型事業所全員で、認知症について勉強会を開いた



## 一般向け講演会

H29年  
皆で発信

当事者が  
それぞれの立場で発表

平成29年度沖縄県若年性認知症支援推進事業 一般向け講演会  
若年性認知症 県内当事者の活動報告

日時:平成29年10月6日(金)  
16:00~20:00 受付開始15時半より

場所:てだこホール市民交流室  
(〒900-0001 沖縄県那覇市11-6-19)

定員:200名  
参加費:無料  
申込:すべての方  
配布物について、当日のスタッフ  
に依頼ください。

申込み方法:  
事前申し込みが必要です。  
(住所、名前、連絡先、電話番号を記入し、FAX:098-943-4709)にてお申込み下さい。  
Q&A欄が追加の場合に  
TEL:098-943-4085(9:13-18:05)までお問い合わせください。  
※定員オーバーの際は先着順とさせていただきます。

当日プログラム

1. 県内の支援報告 16:10~16:50  
・県内の事例  
・就労継続支援事業所B型を採用ケースの紹介
2. 介護保険事業所発表 17:00~18:00  
・小規模多機能施設で働く当事者発表  
・事業所支援者発表
3. 当事者グループの発表 18:10~19:20  
・就労型活動グループの活動発表  
・活動に参加する当事者発表
4. 介護家族の活動発表 19:30~19:40  
・認定資格を取得された介護家族が  
個別支援者の普及に取り組みしています

1階(楽屋裏) ©2020年若年性認知症支援推進事業  
〒900-0001 沖縄県那覇市11-6-19 3 社会福祉法人ケアアール 第4ホール(楽屋裏) 1階  
TEL:098-943-4085(月~8日 9:00~17:00) 月2 4時



この事業は「孤立しやすい若年性認知症の本人と介護家族が互いに支え合うことのできるネットワークづくり」を目的としています。

## 同僚が気づき相談に繋がる

H30年  
繋がる

60歳代 女性

- ・ 新聞記事を見て、同僚が電話相談
- ・ 後日、同僚と本人が来所
- ・ 鑑別診断へ
- ・ 認知症であった
- ・ 就労支援開始

沖縄県若年性認知症支援推進事業の実績  
(利用者のべ人数)

|     | H28年度 | H29年度 | 増減の要因   |
|-----|-------|-------|---|
| 当事者 | 52    | 130   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H29年度はコーディネーター配置により個別相談件数が増加。</li> <li>・個別相談会を開催した</li> </ul> |
| 家族  | 149   | 249   |   |
| 専門職 | 731   | 749   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年度は離島での開催を強化した</li> </ul>                                  |
| 一般  | 124   | 39    |   |
| 合計  | 1053  | 1167  |   |

※当事者のご家族の利用に向けて、引き続き働きかけが必要

## まとめ

当事者の原動力は、当事者の声であった  
 当事者の力が、県民への啓発となっている  
 事業は、常に当事者ととともに歩んでいる

## 平成30年度沖縄県若年性認知症支援推進事業

- コーディネーターが2名体制になり、  
一人は離島支援に力を入れています。
- 支援者向けガイドブック作成に取り組んでいます。
- 告知場面からコーディネーターが介入し、  
早期支援開始の体制づくりを強化しています。

ご静聴 誠にありがとうございました。